

L^AT_EX の使い方～基本編～

情報理工学部 2 回生 伊藤聡子

2018 年 2 月 5 日

目 次

1	概要	2
2	文章構造について	2
2.1	表紙の作り方	2
2.2	項目の作り方	2
2.3	箇条書きの作り方	2
2.4	2
3	フォントについて	2
4	数式について	2
5	図について	2
6	特殊文字・記号について	2

1 概要

L^AT_EX とはなんぞや？ そう思う人はかなりいると思います。

L^AT_EX（ラテック、ラテフ）とは、レスリー・ランポートによって開発されたテキストベースの組版処理システムである。電子組版ソフトウェア TeX にマクロパッケージを組み込むことによって構築されており、単体の T_EX に比べて、より手軽に組版を行うことができるようになっている。と表記できない場合は“L^AT_EX”と表記する。なお、L^AT_EX を基にアスキーが日本語処理に対応させたものとして日本語 L^AT_EX が、さらに縦組み処理にも対応させたものとして pLaTeX がある。専門分野にもよるが、学術機関においては標準的な論文執筆ツールとして扱われている。

by.wikipedia

簡単に言うと、上手い感じに文章や図を配置して PDF などに出力できるソフトのことです。

2 文章構造について

2.1 表紙の作り方

2.2 項目の作り方

2.3 箇条書きの作り方

2.4

3 フォントについて

4 数式について

5 図について

6 特殊文字・記号について